



各位

シライ電子工業株式会社
 代表取締役社長 小谷峰藏
 (コード番号: 6658)
 問い合わせ先: 常務取締役 経営企画・営業担当
 亀井正巳
 電話番号: 075-861-8100

(訂正・数値データ訂正)

「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2019年5月15日に公表いたしました「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

なお、訂正箇所は太字及び下線を付しております。

記

1. 訂正の理由

「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の発表後に訂正すべき事項があることが判明したため、これを訂正するものであります。

2. 訂正の内容

(1) サマリー情報

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

〔訂正前〕

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	1,089	△1,909	347	1,895
2018年3月期	601	△1,402	994	2,436

〔訂正後〕

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	805	△1,735	425	1,863
2018年3月期	601	△1,402	994	2,436

(2) 添付資料 P. 4

1. 経営成績等の概況

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

〔訂正前〕

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の期末残高は**1,895**百万円となり、前連結会計年度末と比べて**541**百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは**1,089**百万円の獲得となり、前連結会計年度末と比べて**488百万円獲得**となりました。その主な増減要因は、当連結会計年度は、税金等調整前当期純利益が223百万円減益となりましたが、仕入債務の増減額が448百万円増加したことや、売上債権の増減額が221百万円減少したことにより、資金流出が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末における投資活動によるキャッシュ・フローは**1,909**百万円の流出となり、前連結会計年度末と比べて**506**百万円の流出増加となりました。その主な増減要因は、当連結会計年度では、有形固定資産の取得による支出が**347**百万円増加したことや、**無形固定資産の取得による支出が129百万円増加**したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末における財務活動によるキャッシュ・フローは**347**百万円の獲得となり、前連結会計年度末と比べて**646**百万円の獲得減少となりました。その主な増減要因は、当連結会計年度では、短期借入金の純増減額が394百万円増加しましたが、長期借入れによる収入が**651**百万円減少したことや、長期借入金の返済による支出が**198**百万円増加したことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率 (%)	17.2	16.2	16.9	16.1	13.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	16.2	12.7	20.0	35.3	23.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	6.1	7.3	14.3	17.5	10.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	5.8	6.8	3.0	3.1	4.3

〔訂正後〕

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の期末残高は**1,863**百万円となり、前連結会計年度末と比べて**573**百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは**805**百万円の獲得となり、前連結会計年度末と比べて**204百万円の獲得増加**となりました。その主な増減要因は、当連結会計年度は、税金等調整前当期純利益が223百万円減益となりましたが、仕入債務の増減額が448百万円増加したことや、売上債権の増減額が221百万円減少したことにより、資金流出が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末における投資活動によるキャッシュ・フローは**1,735**百万円の流出となり、前連結会計年度末と比べて**333**百万円の流出増加となりました。その主な増減要因は、当連結会計年度では、有形固定資産の取得による支出が**320**百万円増加したことや、**補助金の受取額が29百万円減少**したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末における財務活動によるキャッシュ・フローは425百万円の獲得となり、前連結会計年度末と比べて568百万円の獲得減少となりました。その主な増減要因は、当連結会計年度では、短期借入金の純増減額が394百万円増加しましたが、長期借入れによる収入が571百万円減少したことや、長期借入金の返済による支出が200百万円増加したことによるものであります。

(参考) (キャッシュ・フロー関連指標の推移)

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率 (%)	17.2	16.2	16.9	16.1	13.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	16.2	12.7	20.0	35.3	23.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	6.1	7.3	14.3	17.5	<u>13.9</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	5.8	6.8	3.0	3.1	<u>3.2</u>

(3) 添付資料P. 14

3. 連結財務諸表及び主な注記

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

[訂正前]

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	474	250
減価償却費	964	1,115
減損損失	11	—
補助金収入	△148	△118
受取保険金	△125	△14
賞与引当金の増減額 (△は減少)	15	19
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△15	△31
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
受取利息及び受取配当金	△10	△8
支払利息	193	255
為替差損益 (△は益)	△37	<u>331</u>
固定資産売却損益 (△は益)	8	8
固定資産廃棄損	60	31
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△0
持分法による投資損益 (△は益)	△63	△173
売上債権の増減額 (△は増加)	△508	△287
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△223	△418
仕入債務の増減額 (△は減少)	△26	422
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△138	185
その他	375	<u>8</u>
小計	808	<u>1,574</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
利息及び配当金の受取額	10	8
災害による保険金収入	96	14
利息の支払額	△191	△253
法人税等の支払額	△130	△262
法人税等の還付額	8	8
営業活動によるキャッシュ・フロー	601	<u>1,089</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,496	<u>△1,844</u>
有形固定資産の売却による収入	0	2
無形固定資産の取得による支出	△44	<u>△173</u>
投資有価証券の取得による支出	△7	△6
投資有価証券の売却による収入	—	△0
補助金の受取額	148	118
その他	△3	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,402	<u>△1,909</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	173	567
長期借入れによる収入	2,877	<u>2,225</u>
長期借入金の返済による支出	△2,006	<u>△2,205</u>
リース債務の返済による支出	△176	△170
社債の発行による収入	195	—
配当金の支払額	△69	△69
財務活動によるキャッシュ・フロー	994	<u>347</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40	△69
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	153	<u>△541</u>
現金及び現金同等物の期首残高	2,283	2,436
現金及び現金同等物の期末残高	2,436	<u>1,895</u>

〔 訂正後 〕

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	474	250
減価償却費	964	1,115
減損損失	11	—
補助金収入	△148	△118
受取保険金	△125	△14
賞与引当金の増減額 (△は減少)	15	19
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△15	△31
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
受取利息及び受取配当金	△10	△8
支払利息	193	255
為替差損益 (△は益)	△37	253
固定資産売却損益 (△は益)	8	8
固定資産廃棄損	60	31
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△0
持分法による投資損益 (△は益)	△63	△173
売上債権の増減額 (△は増加)	△508	△287
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△223	△418
仕入債務の増減額 (△は減少)	△26	422
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△138	185
その他	375	△197
小計	808	1,291
利息及び配当金の受取額	10	8
災害による保険金収入	96	14
利息の支払額	△191	△253
法人税等の支払額	△130	△262
法人税等の還付額	8	8
営業活動によるキャッシュ・フロー	601	805
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,496	△1,817
有形固定資産の売却による収入	0	2
無形固定資産の取得による支出	△44	△27
投資有価証券の取得による支出	△7	△6
投資有価証券の売却による収入	—	△0
補助金の受取額	148	118
その他	△3	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,402	△1,735
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	173	567
長期借入れによる収入	2,877	2,305
長期借入金の返済による支出	△2,006	△2,207
リース債務の返済による支出	△176	△170
社債の発行による収入	195	—
配当金の支払額	△69	△69
財務活動によるキャッシュ・フロー	994	425
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40	△69
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	153	△573
現金及び現金同等物の期首残高	2,283	2,436
現金及び現金同等物の期末残高	2,436	1,863

以 上